



▲山から馬搬(ばちびき)された木は、くぎなどを一切使わず、丸太同志を組み合わせた桟橋(さんばし)の上を通って駅土場におろされた。



▲馬搬(ばちびき)は、馬そりが使える冬期間に実施された。

木材需要がようやく軌道にのつたのは、昭和26年以降で、戦後復興によるパルプ材の需要増加や国有林風倒木の利用、糠平ダム工事による湛水区域、工事用地などが伐採された時期である。また、昭和29年の台風による被害木処理では、丸太を積んだ貨車が下り勾配を矢のように走る弾丸列車が三股駅から60台から70台も出て旭川や苫小牧へパルプ材として送られるなど、街は活気があふれていたが、運搬がトラックに

本町の林業は開拓の歴史とともに歩んできた。町の北方に位置する音更国有林は、明治25年から十勝監獄の建築用資材として音更川で造材流送され、大正5年には、造材事業を開始した王子製紙によつても流送された。

大正7年、元小屋一メートセップ間の約10 kmの車場道改修工事により、馬車の通行が可能となると、造材事業の利便性が増した。これによつて、糠平奥地造材人馬の往来が多くなり、平地部の各所で入植者が見られた。この工事の「音更山道」碑は昭和45年に復元され、今も現存している。その後、鉄道開通によつて、流送は次第に貨車輸送に切り替えられ、三股、糠平、上士幌駅貯木場は木材によつて埋められた。



インタビュー
なかた しょうご
中田 昭吾 さん

昭和2年上士幌生まれ。昭和57年に中田木材工業株式会社の代表取締役社長に就く。平成15年に中田博文現社長に引き継ぎ、現在は会長を務めている。現在でも、原木の受け入れをチェックするなど、現場での作業を行つている。

上士幌町

開町 80 年
80th Anniversary

シリーズ
3

かみしほろの歴史を振り返る

未来へ受け継ぐ財産～林業・木材工業～

変わり、伐り出す木もなくなると三股の街はたちまち寂れていった。

上士幌の製材事業の初めは、大正6年居辺地区における皮革会社の枕木生産であった。初期の木工場としては、大正12年に東3線45号付近(のちに上士幌駅周辺に移転)に長屋芳太郎によつて木工場が建ち、昭和4年に上士幌木工場が創設され、のちの中島木工場へ発展した。現在は、町内の木材工業は、5事業所となつていて。

昭和26年、製材工場として操業された中田木材工業株式会社の中田昭吾会長は、ここ20年を振り返り、「製材業は、暴騰とその後の不況、昭和61年の円高による輸入原木の値下がりと外材の関税による価格上昇、不況による建築需要の減少」などを挙げてくれた。

しかしながら、最近では、「建築工法の変化などもあり、カラマツや集成材の需要が出てきている。また、道有林や過去に植林し40～50年ほどの国有林も伐採され始めている」と話された。上士幌町の林業・木材工業は、目まぐるしく変わる経済に対応しながらも、ゆっくりと未来へ財産を受け継いでいる。

町の歴史と共に歩んできた産業
経済の変化に対応しながら
受け継いでいくべき財産



▲中田木工場(昭和42年当時)

川柳

短歌

エルグランドぼくもいつかは乗りたいな
ダメにした歯へ後悔の歯を磨く
シジュウカラぼくの巣箱で子育てし
短冊に願いを込めて天の川
日焼け止め外はコワイよ紫外線
スッピンで外に出るのは勇気いる
雨つばめ水面に浮かぶ空の青
通り雨花も私も息をつく
主無事かがれきと共にランドセル
饒舌な闇と語らう午前二時
原発で再び戻らぬ青い空

うす暗くなりたる午後の静まりで遠く雷聞きて墨磨る
つつじリラ様々の花咲き盛る六月十勝野華やぎにけり
北国の吾が庭の桜満開となり子等を思ひて日すがらながむ
吾が庭に一時に咲く春の花さくらに梅に赤白のつづじ

桜	白	坂	齊	田	八	重	櫻	小	米	鈴	高	木
石	田	藤	中	池	森	森	木	森	博	誠		
花	い	敦	咲	幸	由	真	豊	樹	弓	也		
絵	馨	子	子	子	希	子	豊	樹				
寄付												

高木
川裕子
高木慶子



平成23年5月末現在の人口

男	2,492人	(先月比-6人)
女	2,650人	(先月比-1人)
計	5,142人	(先月比-7人)
世帯数		
2,335世帯		(先月比-7世帯)

寄付

- ▶11の2区の阿部文雄さんは、6月8日に東日本大震災の復興支援経費として金1万円を寄付されました。
- ▶帯広市の阿部正光さんは、6月8日に東日本大震災の復興支援経費として金1万円を寄付されました。
- ▶11の2区の松岡定喜さんは、6月8日に東日本大震災の復興支援経費として金1万円を寄付されました。
- ▶11の1区の杉立妃都美さんは、6月8日に東日本大震災の復興支援経費として金5,000円を寄付されました。

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



紙30歳になり既に3カ月が経てしましました。1週間がとても早く感じます。紙最近では息子の寝かしつけでそのまま寝てしまうことも…。1週間どころか1日が短く感じる今日この頃です。紙これからは、早起きして1日を有効に使おうと思っています。(…A)

広報

がみしほろ 8月号は7月25日(月)発行予定

紙今月、娘の誕生日ケーキを買いに行きました。紙子どもらしく、「大きいケーキでもいいの?」って目を輝かせいた娘。ところが店では、デコレーションケーキに目もくれず、カットケーキをたくさん選んでました。紙「いろんなケーキを少しずつ食べたいから♪」ですって。すでに乙女です。(「虫とりを教えて♪」って言われています。…K)